



2019 No.169

くるめ福祉

1

発行 久留米市社会福祉協議会



皆さまにおかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より本会が取り組んでおります地域福祉活動の推進につきまして、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本年も「こころ あふれる支え合いのまち くるめ」の実現を目指し、福祉のまちづくりに努めて参りますので、どうぞ変わらぬご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

皆さまの益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

社会福祉法人 久留米市社会福祉協議会

会長 川地 東洋男

日本の人口推移



■ 65歳以上
■ 15歳～65歳未満
■ 14歳以下

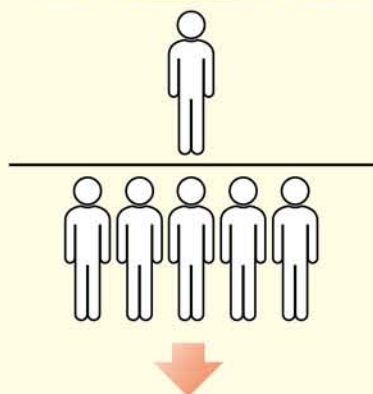
出典：総務省「国勢調査」および「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計)「出生中位・死亡中位推計」(各年10月1日現在)、厚生労働省「人口動態統計」より改変

現実となった人口減少社会

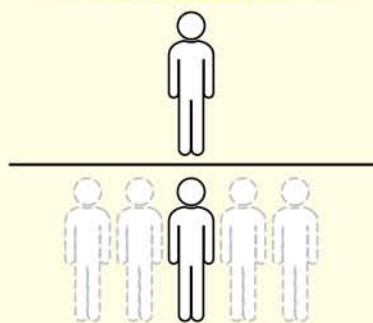
日本の人口は2008年にピークを迎え、1億2808万人でしたが、以後少しずつ減り始め、2015年国勢調査では1億2709万人となりました。人口減少は加速し、今から40年後の2060年には8674万人にまで減少すると予想されています。

65歳以上の高齢者1人を支える現役世代の人数は、1990年では5人だったのが2060年には1人になると予想されています。

1990年



2060年



地域での支え合い

このような人口減少社会の問題に立ち向かうべく、市内では住み慣れた地域で暮らし続けるため、支え合いの仕組みづくりが始まっています。住民同士が支える側、支えられる側に分かれるのではなく、誰もが支え合うまちづくりを目指しています。

実は地域の中には、すでにいろいろな支え合いがあります。

広がる支え合いの輪

ゴミ出し応援などご近所同士のお手伝いや見守り訪問活動などは、比較的分かりやすい「支え合い」です。他にも、お互いの元気作りにもなるサロン活動や(P4参照)、青パトによるパトロール活動も住民による安全の見守り活動です。さらには校区のお祭りなども、お互いの顔の見える関係づくり、という面で見れば、支え合いの仕組みづくりのひとつといえます。

私たちの暮らしの中にある支え合いを見つめ直し、地域の強みを活かしながら、自分たちの地域にはどんな支え合いが必要だろうかという話し合いが各校区で始まっています。それが支え合い推進会議です。



写真①／住民による安全の見守り活動
写真②／お互いの元気作りになっているサロン活動
写真③／道に出た草木が危ないためボランティアが剪定
あなたの暮らしている町にも、こうした支え合いが行われているかもしれません。

支え合い推進会議 取り組み開始校区一覧

開始年度	校区名
H28	金島・合川・西国分・三瀬・青峰
	山本・山川・京町・安武・大善寺・草野
H29	津福・荘島・善導寺・宮ノ陣・小森野
	金丸・北野
H30	大橋・水縄・日吉・青木・浮島・田主丸・上津

(H30年12月20日現在)

写真④／莊島校区のお祭り「よかつ祭」での寸劇。支え合いの意識啓発を行っています。

写真⑤／支え合い推進会議で生まれたサロン。

地域性が異なっているため、校区により支え合いの形も多種多様です。



※「社会資源」とは？

人の要求や困っている人の問題解決をするときに活用できる地域のもの。施設や団体、制度、資金、物資、個人や集まり、習慣などの総称。

地域の
たからもの



いろいろな
支え合いの
カタチ

支え合い推進会議では、いろいろな話し合いが行われています。

大橋校区では、地域にどんな活動や社会資源（※）があるのか、自治会ごとに詳しく調べました。すると、数人で茶話会をしたり、近所の人々が定期的に集まっていることが分かりました。実際にどのような集まりなのか、場所はどこなのか、どのような人が集まっているのか、などが話し合われました。その結果、その集まりはサロンとなり、一部の人は

か知らなかった集まりが、より多くの人に知ってもらえるようになりました。（写真⑤）

また、莊島校区（写真④）では、まず、住民への意識啓発が必要と考え、校区のお祭り「よかつ祭」で支え合い活動の寸劇を行いました。校区の各団体が一致団結して取り組み、横のつながりも、より強いものになりました。

このように、各校区の特色を活かした支え合いの仕組みづくりが進んでいます。

地域で
支え



写真⑥／知り合うことは、支え合える関係になることにつながります。笑い合ってつながれるまちを目指しています。

写真⑦／みんなで使う道路はみんなできれいに。そんなゴミ拾いも支え合いのひとつです。

写真⑧／昨年の7月に起こった豪雨災害では、全国から支え合いにボランティアが駆けつけてくれました。支え合いにもいろいろな形があります。自分ができる支え合いを考えてみませんか。

私たちのまちを
「共に生きるまち」へ

昨年7月、本市でも豪雨災害が発生しました。近年、自然災害も多くなり、いつ災害が起こるか分からない状況です。

このような時代だからこそ、いま住民同士の支え合いが改めて求められているのではないのでしょうか。

年齢、性別、障害や国籍の違いに関わらず、地域に暮らす誰もが支え合い「共に生きるまち」へ。このようなまちづくりを支え合い推進会議で目指しています。





みんなのサロン

～南校区 南牟田山「木曜サロン」～

南牟田山「木曜サロン」は昨年からはまった新しいサロンです。月2回(第2・第4木曜日)の13:30から15:00まで、南牟田山集会所に集まり、南第2地域包括支援センターや市社協に登録しているボランティア団体からのお話や、ふれあいの会のボランティアによるレクリエーションをみんなで楽しんだりしています。

体操は、好評の時間です。みんなで元気に過ごすために、笑顔で楽しむことを心がけています。



サロンってこんなもの

サロンは地域の人々が定期的にあつまる居場所です。サロンによっては、レクリエーションやおしゃべり会など様々なことをしています。このシリーズでは、市内のサロンを紹介していきます。



そば打ち体験講座

そば打ちを通して、地域のみなさんと交流しませんか？

【日 時】平成31年1月23、30日、2月6、13、20日(毎週水曜日全5回)
9時～14時

【集 合】市総合福祉センターに全日程9時集合
※市総合福祉センターよりバスで会場の
佐賀県みやき町農村環境改善センターまで移動します。

【対 象】①そば打ちについて興味がある人
②全5回の講座を受講できる人
③講座受講後、受講生でグループを結成し、サロン等でそば打ち
ボランティアとして活動できる人

※上記①～③をすべてクリアできる人

【定 員】10人(応募者多数の場合は抽選) 【締 切】1月21日(月)17時まで 【参加費】無料

【講 師】みやき町蕎麦打ちおやじの会

【申込み・問い合わせ】市社会福祉協議会 ボランティアセンター TEL0942・34・3035 FAX0942・34・3090



ボランティア 交差点

～車いす空を飛ぶ～ 福岡県立浮羽工業高等学校

自動車部



空飛ぶ車いすとは...

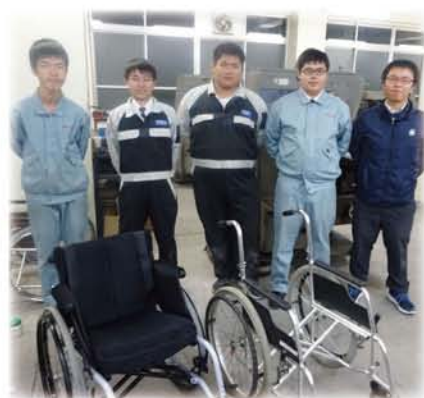
日本の工業高校生が得意な技術を活かして、家庭や施設等で使わなくなった車いすを整備、再生し、「車いす」が不足して困っているアジア諸国の子どもや高齢者に届ける国際協力活動です。

浮羽工業高校では平成17年より自動車部の皆さんが「空飛ぶ車いす活動」に取り組んでいます。

メンテナンス風景

車いすを一度分解し、タイヤの軸の中にある小さな鉄球まで取り出し、丁寧に洗浄し錆を落とします。また、壊れている部品は修理・交換しますが、時には機械を使用し部品を新たに作製することもあります。

さらに、パンク修理が不要なノーパンクタイヤへ交換しています。整備した車いすは安全点検後、日本社会福祉弘済会(東京)を通して海外へ届けています。



フライト状況

活動開始以来、毎年、「修理100台、海外へ100台」を目標に活動しており、これまでに約700台をアジア諸国に届けています。

また、夏休みには海外へ行き、自分たちが修理・整備した車いすを直接、手渡しすると同時に現地の施設で車いすを修理する活動にも取り組んでいます。

平成30年度は、熊本県益城町と福岡県東峰村の施設で出張車いす修理を実施されました。部員の皆さんは「喜んでもらえて嬉しかった」「少しでも役に立ちたい」という思いで、日々の活動に励んでいます。

第40回 久留米市ボランティアフェスティバル

テーマ：地域で育つボランティア ～笑顔と元気をありがとう～

久留米市ボランティアフェスティバルは市内のボランティアが集う一大イベントです。すてきなプレゼントがあたる抽選会、体験コーナー・バザーもあります。ぜひ、お越しください。

ボランティア募集

ボランティアフェスティバル実行委員会では、イベントの運営をお手伝いしてくれる皆様に募集しています。一緒に楽しみながらボランティアをしてみませんか？

と き:2019年3月17日(日)9:45～15:30
と ころ:久留米シティプラザ(六角堂広場、展示室等)
講 演:「強く生きていくためにあなたに伝えたいこと」
野々村 友紀子 氏

【問い合わせ・ボランティア申込み】
久留米市ボランティアフェスティバル実行委員会事務局
久留米市長門石1-1-34 市社会福祉協議会内
TEL:0942・34・3035 FAX:0942・34・3090



野々村 友紀子 氏

夫は芸人・2丁拳銃・修士。
放送作家としてバラエティ番組の企画構成に加え、吉本総合芸能学院(NSC)の講師など多方面で活躍中。

第46回 久留米市社会福祉大会開催

久留米市社会

福祉大会(主催)

市社会福祉協議

会・県共同募金会

久留米市支会が

11月9日、文化セ

ンター共同ホール

において開催され

ました。

記念講演では、

上方落語協会落語家、天台宗僧侶 露の

団姫氏より「二隅を照らす」自分の持ち

場で一生懸命」と題してご講演いただき

ました。

落語家と僧侶を志したきつかけや修行

時の出来事などユーモア溢れる話をされ、

会場が笑いに包まれました。最後に「自分

の持ち場、仕事場や家庭といったそれぞれの

の場所で一生懸命頑張る人こそが大切な

宝」と話され、あらためて今後の活動を考

えるヒントをいただきました。

式典では、永年にわたり日頃より地域

福祉活動や共同募金運動に取り組み、地

域福祉の向上に貢献された個人・団体を

顕彰し、最後に大会宣言および実践申し

合せ事項を参加者全員で採択、これからの

地域福祉の

増進を誓い、

盛会のうち

に大会を終



露の団姫氏

地域福祉の
増進を誓い、
盛会のうち
に大会を終
えました。



140人・26団体を顕彰

久留米市社会福祉協議会会長顕彰

(敬称略)

○市長感謝状

永年福祉活動功績者

莊島	坂井 弘美	日吉	中島美智子	日吉	野田 周子	篠山	江上 昭子
篠山	井手 ヨシ子	篠山	中野 征子	南薫	上田 町子	南薫	石井 敏明
鳥飼	塚本 篤行	鳥飼	広津 猛	小森野	笠 武之	金丸	川嶋 ハルミ
金丸	出田 剛朗	金丸	中原 龍男	金丸	坂田喜代美	御井	長田 明教
南	井上 和枝	合川	小堀 順弘	上津	池田 澄子	山本	綾部 章子
安武	緒方 佳子	安武	野口 数次	大善寺	池田 和子	善導寺	湊本 玲子
青峰	志岐 京子	青峰	藤崎 トヨ子	青峰	藤 久子	津福	京谷 清光

○社会福祉協議会会長表彰状

永年福祉活動功績者

市社協	田中 良介	市社協	秋吉 傳子	西国分	江口 幸子	西国分	中野今朝之
日吉	米谷 和友	日吉	吉村 篤	篠山	稲次 和子	南薫	樋口 静子
鳥飼	青沼 典子	小森野	笠 幸江	金丸	松尾 初江	金丸	井上 洋子
山川	近藤美保子	上津	島津ケイ子	荒木	高田カヨ子	荒木	大坪 純子
青峰	小玉 良富	柴刈	永松 正信	北野	藤村 英子	城島	下坂 勝子

○社会福祉協議会会長感謝状

校区社会福祉協議会会長功績者

三瀧 勝田 博 善導寺 赤木 民憲

校区社会福祉協議会役員及び実践活動者

西国分	富田 庄二 井上 隆信	莊島	清永 ヒミ子 早田たみ子	日吉	竹中 京子 三浦 秀夫	篠山	戸田 久夫 吉貝 恵
京町	尊田 典子 江崎 三男	南薫	福島 哲明 花田真由美	鳥飼	青沼 太輔 茅島すみえ	長門石	執行 茂 潮崎美智子
小森野	加藤 幹生 笠 美枝子	金丸	梅野 明美 青沼 淨	東国分	相良 好子 安永 美樹	御井	立野 壽章 井上 傳一
南	大本 まさ子 古賀由美子	合川	宮崎香代子 坂本 和子	山川	豊福 泰正 原口 宮子	上津	小原 弘子 水崎 トモエ
宮ノ陣	石松 昭子 本山 玲子	草野	上野 喜代 樋口 牧子	安武	安永 秀博 田島 ヨシエ	荒木	吉元 千鶴 中村百合子
大善寺	岡 ツヤ子 江崎 裕子	善導寺	樽海小夜子 西田 スミエ	青峰	金森 増子	津福	寺崎 學 堤 しづ子
水縄	高山 満典 江口 博重	田主丸	山下 イセ子 横溝 孝徳	犬塚	岩永 松夫 本村 範美	三瀧	馬場 義治 中鶴 洋子
西牟田	草場美奈子 豆塚千代子						

優良校区社会福祉協議会

水縄校区社会福祉協議会 船越校区社会福祉協議会 川会校区社会福祉協議会

下田校区社会福祉協議会 浮島校区社会福祉協議会 青木校区社会福祉協議会

福祉団体活動推進者 市母子寡婦福祉会 山村 陽子

高額寄贈者 匿名 匿名 一般社団法人日本競輪選手会福岡支部 久留米事務所

福岡県共同募金会久留米市支会顕彰

(敬称略)

○市長感謝状

共同募金運動推進者

津福 角 栄子
合川 医療法人弘優会 日高眼科クリニック

○共同募金会久留米市支会会長表彰状

校区分会長功績者

西国分 荒木 征洋 金丸 森光多恵子 津福 入部 昭生

共同募金運動推進者

鳥飼 吉田 香 上津 米倉加奈子 津福 森下 紘治
大城 大塚 泰子 支会 チャーチル会久留米

○共同募金会久留米市支会会長感謝状

校区分会長功績者

篠山 松平 信俊 日吉 米谷 和友 三瀧 勝田 博

校区分会役員及び実践活動者功績者

京町	町田 昭子 石井登志子	南薫	内田 房男	金丸	井上 洋子
御井	樋口昌二郎	南	大城 貴子 赤裏 健治	合川	吉田 勝則
山川	緒方美恵子 増山 晶子	荒木	古賀由紀枝	大善寺	諸藤 啓一 諸藤 学
青峰	藤崎 トヨ子	津福	武内 國夫 掛野 和宏	犬塚	有馬 良信
西牟田	田川 英和				

優良校区分会

浮島校区分会 日吉校区分会 鳥飼校区分会 御井校区分会

竹野校区分会 上津校区分会 津福校区分会

高額寄贈者

金丸 永松税理士事務所
御井 有限会社 モク・コーポレーション
草野 株式会社 日天大鳳
草野 株式会社 フチガミ
青峰 小玉 良富
津福 株式会社 藤岡建設
津福 スーパーオートバックス 久留米
三瀧 株式会社 永田農販
西牟田 株式会社 立花商事
支会 フリーランスプランニング株式会社
支会 久留米市佛教会

ご芳志

ありがとうございます

平成30年9月1日から11月末まで 寄付者一覧(敬称略)

賛助会員

「個人会員」

渡辺すみ子(日吉町)

尋木 洋子(津福本町)

執行 満(長門石町)

田中 淨祐(御井)

井上フチノ(御井町)

碓 松子(南)

田中 力(南)

大石マサ子(太郎原町)

落合 尚芳(高良内町)

白水 澄子(宮ノ陣)

佐藤フサ子(宮ノ陣町)

津留崎千鶴子(大善寺町)

平塚 清次(北野町)

「法人会員」

エバーガーデン

久留米中央町

(中央町)

社会福祉事業寄付金

(株)ブリヂストン

(京町)

みづま祭り参加金融機関

(福岡県南部信用組合・福岡銀行・大川信用金庫・佐賀銀行)

(三潞町)

(株)ミーズ西牟田店

(筑後市)

(株)ブリヂストン様より寄付

11月14日、ブリヂストン吹奏楽団久留米様から、定期演奏会の収益の一部をご寄付いただきました。

平成4年よりご寄付いただいています。社会福祉活動の充実に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



物品寄付

明治安田生命(相)久留米支社
(本町)

香典返し寄付金

萩野由美子(故 榮喜男)
(福岡市)



クラブ活動への参加者を募集しています

～みんなで一緒に楽しい趣味の時間を過ごしましょう～

市総合福祉会館を利用して、多くの方々が趣味や健康づくりを楽しんでいます。各クラブの活動日・詳細等は、各クラブの問合わせ先にお尋ね下さい。



クラブ名	問合わせ先
太極拳クラブ	竹中 0942・38・2974
日本舞踊(貴山流観京翁の会)	古賀 0942・89・5892
ふれ愛ダンス	岩本 080・5240・3071
いきいきクラブ	松本 090・7162・8036
レジンフラワークラブ	入船 0942・34・6930
カラオケ睦美会	稲益 0942・33・3265
手芸クラブ	本田 0942・34・2582
フレッシュ体操	野村 090・7980・4487
日本舞踊(藤豊之会)	田村 090・7297・4651
ジョイナスクラブ表装会	吉田 090・3985・4994
ひまわり社交ダンス	竹上 090・8404・3778
折り紙教室	関根 0942・32・9185
洋裁クラブ	江藤 090・5925・5311
日本画クラブ	松原 0942・34・3588
コスモス社交ダンス	宮崎 0942・27・0858
クラシックギター 夢弦	田中 090・2581・5836
水彩画クラブ	高木 0942・35・9001
将棋同好会	石井 0942・38・7603

【問合わせ】市総合福祉会館(久留米市長門石1丁目1-32)

TEL 0942・38・9288 FAX 0942・38・9289

(敬称略)

明治安田生命(相)久留米支社様より車いすの寄贈

11月12日、明治安田生命久留米支社様から、車いすを寄贈いただきました。車いすを福祉施設に寄贈する活動を続けられ、今年で6年目となります。

市社会福祉協議会で活用させていただきます。誠にありがとうございました。

福祉のしごと就職フェア
2019 in FUKUOKA

日 時 平成31年3月9日(土)

就活応援セミナー(参加費無料)

11:00~11:50

就職面談会

12:00~16:00

受付 10:30~15:30

会場 クローバープラザ
(福岡県春日市原町3-1-7)問合わせ 社会福祉法人
福岡県社会福祉協議会
春日市原町3-1-7
TEL 092・584・3310
FAX 092・584・3319

久留米市成年後見センター便り⑰

市成年後見センターでは、成年後見制度に関する相談などを行っています。特に専門的な相談に関しては毎週木曜日に弁護士相談も行っています。事前にご予約のうえ、お気軽にご相談ください。

市成年後見センター弁護士が、成年後見制度に関する疑問にシリーズで答えていきます。

- Q. 本人が施設に入っていて、親族は全員他県にいます。そのような場合でも後見等の申立ては可能でしょうか。
- A. 親族が近隣にいないでも申立ては可能です。申立てをする家庭裁判所は原則として本人の「生活の本拠地」（日常生活をしている所）を管轄する家庭裁判所となります。今回の場合は、施設を管轄する家庭裁判所に申立てすることになります。なお、どの家庭裁判所に申立てればよいかが分からない場合は、近くの家庭裁判所にお尋ねください。

申立て書類は各家庭裁判所で準備していますが、インターネットからもダウンロードできます。しかし、家庭裁判所によって書式が違ふ場合がありますので、管轄の家庭裁判所に確認してください。申立て書類に不備がなければ、裁判所の職員（調査官）による本人や申立人・成年後見人等候補者との面談等が実施されます。なお、本人との面談は本人の状況によって違いますが、申立人・成年後見人等、候補者との面談は必ず実施されますので、家庭裁判所の呼出があると申立人や候補者として記載されている方は家庭裁判所に出向く必要があります。

今回の担当弁護士

せいすい
青翠法律事務所
大脇 久和 弁護士



相談時間

月曜～金曜／8時30分～17時15分
(土・日・祝日・年末年始はお休みです。)

相談は無料です。

※弁護士相談は毎週木曜日のみ。事前に予約が必要です。

【問合わせ】

市成年後見センター
(市社会福祉協議会内)
TEL 0942-30-2732
FAX 0942-34-3090

ご意見お待ちしております

「くるめ福祉」アンケート

次の質問にお答えください。

【質問】

- ①どの記事が一番印象に残りましたか。
- ②こんな記事があったらいいなと思うものはありますか。
- ③その他、何かご意見があればお寄せください。
お寄せいただいた中から、抽選で5人に500円分のクオカードを差し上げます。
なお当選者の発表は、クオカードの発送をもって代えさせていただきます。

【送付締切】

平成31年2月15日(金)必着

【送付方法】

住所、氏名、電話番号を記入の上、郵便又はメールでお寄せください。

【送付先】

〒830-0027
久留米市長門石1丁目1番34号
久留米市社会福祉協議会
「くるめ福祉広報係」宛

題名に
「くるめ福祉広報係」と記載
アドレス heartful@kumin.ne.jp

【ご意見・問合わせ】

市社会福祉協議会 地域福祉課
TEL 0942-34-3035 FAX 0942-34-3090

2月～3月 献血日程 予定表

校区・地域	日程	場所	受付時間
2月	草野	7日(木) 草野校区コミュニティセンター	10:00～11:30 12:30～15:00
	大橋	12日(火) 大橋校区コミュニティセンター	10:00～12:30 13:30～15:00
	城島地域	13日(水) 城島げんきかん (城島保健福祉センター)	10:00～12:30 13:30～15:30
	三瀬地域	13日(水) 三瀬保健センター	10:00～12:00 13:00～15:30
	西国分	22日(金) 西国分校区コミュニティセンター	10:00～15:30
	南薫	24日(日) 南薫校区コミュニティセンター	9:30～12:30 13:30～15:30
3月	御井	1日(金) 御井校区コミュニティセンター	10:00～12:30 13:30～15:00
	田主丸地域	5日(火) 俵野口機工 JAIにじ 田主丸支店	9:30～12:00 14:00～16:00
	北野	7日(木) コスモすまいる北野	10:00～12:00 13:00～15:30
	田主丸地域	18日(月) 田主丸総合支所	10:00～13:00 14:00～15:30

献血の日程は、市社会福祉協議会のホームページでもご覧になれます。
フェイスブックやツイッターも随時更新しています。

がんばれ献血バス

日本赤十字社の献血バスを見かけたことはありますか？献血バスは、全国に284台しかありません(平成30年3月31日現在)。九州には42台、そのうち福岡には11台の献血バスがあり、これは全国で5番目に多いのです！福岡県内では、ほぼ毎日献血バスによる献血が行われています。

※ちなみに、1位は東京(19台)です。

【問合わせ】

久留米市献血推進協議会(市社会福祉協議会内)
TEL 0942-34-3035 FAX 0942-34-3090

